

はじめに一緩急接続とは一

緩急接続とは「緩（＝緩行列車）」と「急（＝優等列車）」との接続という意味であり、緩行列車（いわゆる各駅停車）と優等列車（急行や快速など）との乗り換えを図ることで利便性を向上させようというものだ。主要駅のみで止まる優等列車を緩行列車と接続させることで、優等列車の停まらない駅を利用する場合でも乗り換えにより速達効果を得ることができるという利点があり、優等列車が走る多くの路線で採用されている。本冊子ではこの「緩急接続」をテーマに研究をまとめた。

特に都市の鉄道においては、緩急接続を用いつつ規則的なダイヤが生まれ、路線ごとに特徴が見られる。このため、研究にあたっては都市の鉄道を典型例として話を進めていく。

本冊子は緩急接続を構成する要素によっていくつかの章に分かれている。ハード面として駅の配線などに着目する「設備」の章と緩急別による車種の違いに着目する「車両」の章があり、ソフト面として列車の運行の仕方や接続のパターンに着目する「ダイヤ」の章と接続情報の提供方法や内容に着目する「案内」の章がある。これら4つの章により様々な角度から緩急接続を考えていきたい。

研究部長 法学部2回生 松田 彬



図「阪急茨木市駅での緩急接続風景」

(2008年11月1日、筆者撮影)